

JVTA®

日本映像翻訳アカデミー

入学案内

J A P A N
V I S U A L M E D I A
T R A N S L A T I O N
A C A D E M Y

プロの映像翻訳者になりた

If your dream is to become a
we can help you

い。そのドラマをあなたと創る。

professional visual media translator,
make it come true.

人生において、英語の習得に多くの時間を捧げている人を育て支える。
当校が1996年に開校して以来、変わらぬ強い想いです。

プロへの道は簡単ではありません。途中、挫折や葛藤もあるでしょう。
しかし、だからこそ、人生が輝き、ドラマになるのです。

「99%は大変だけど、残りの1%が本当に楽しい」
映像翻訳の仕事は、想像以上に大変です。

「伝えたい、どうすればもっと伝わるか、より伝わる言葉は？」
夢に見るぐらい、悶々と悩む日々が続きます。

でも、それだけ悩む価値がある仕事です。
映画の面白さを伝えるのは、ハリウッド俳優や監督だけではなく、
作り手と観客をつなぐ映像翻訳者なのですから。

ジグソーパズルと違って、映像翻訳に正解はありません。
しかし、自分の言葉が映像にピタリと重なった時の達成感は、他では味わえません。
1%の楽しさを追いかけてみませんか。
映像翻訳は、一生を賭すに値する仕事です。

JVTAスタッフ一同

Since our founding in 1996, it has been our foremost mission to support those who
have dedicated a large part of their lives to mastering the English language.

The path to becoming a visual media translator is not easy. You may face hardships and
obstacles along the way, but they will only make your dream shine brighter.

As a professional, you will learn to work under tremendous pressure. Though 99% of it may
feel like a struggle, that last 1% will be nothing short of pure joy.

At times, you may lose sleep over a translation for a particular phrase. “Which word is the
perfect fit?” “How can I connect with the audience?” You may find these questions even
appearing in your dreams.

But all of your struggles will pay off in the end. After all, actors and film directors are not the
only ones who connect with the audience – visual media translators play a pivotal role in
providing entertainment.

Unlike a jigsaw puzzle, there is no one right answer in visual media translation. That’s what
makes it all the more exciting when your words match up perfectly with what’s on screen.
Come discover that 1% of pure joy. Make visual media translation your lifetime pursuit.

JVTA Staff



映像翻訳者と共に 世界をつなぐ、未来を創る

英語の習得に人生を重ね、これからもそうありたいと願う方々が、その力を最大限に生かせる仕事に出会うこと——。

日本映像翻訳アカデミー (Japan Visualmedia Translation Academy=JVTA) は、1996年の創設以来、この思いを唯一無二のミッションとして受講生を支えてきました。映像翻訳者の育成と就業支援に特化した職業訓練校として多数のプロフェッショナルを社会に送り出し、修了生と共に実績を積み上げています。

「時代の変化」に応じて 拡大する映像翻訳ニーズ

グローバル化とデジタル化、今、2つの大きな変化が映像翻訳の需要をさらに押し上げています。

世界中の映画やドラマ、ドキュメンタリー・音楽・スポーツ・バラエティ・生活情報番組を、誰もが手軽に、大量に視聴できる環境はすでに整っています。また、企業や公益団体、大学などは情報発信の急速な映像化を進めており、映像翻訳者の事業領域は拡大中です。さらに、

We are committed to introducing anyone who has dedicated a large part of their lives to English learning to a profession that will help them realize their full potential.

Since the Japan Visualmedia Translation Academy (JVTA) was founded in 1996, our one and only mission has been to support our students' careers. As a vocational academy specialized in educating and producing professional visualmedia translators, we, alongside our students and alumni, continue to establish a proven track record in the industry.

Changing times drive the growth of visualmedia translation needs

Two major shifts – globalization and digitalization – are driving the demand for visualmedia translation.

Infrastructure today has made it possible for anyone to easily consume a plethora of films, dramas, documentaries, and music, as well as

Designing a future to connect the world
with visualmedia translators

聴覚や視覚に障がいがある方々のために総務省が推進している「バリアフリー字幕・音声ガイド」分野にも、多くの映像翻訳者が参入しています。今後はさらに多様なフィールドで映像翻訳の力が求められるでしょう。

注目すべきもう1つの動きは「日英映像翻訳」事業の発展です。日本が持つ豊かな映像コンテンツを世界に向けて発信する「クールジャパン戦略」は、国が力強く支援する一大ビジネスと

なりました。JVTAはこうした動きに先立ち、2008年には東京校とロサンゼルス校で日英映像翻訳者育成メソッドを確立。日本の映画やドラマ、アニメーションなどの日英映像翻訳に携わる多くのプロを輩出してきました。

一人ひとりのキャリアプランに合った学び方を提供

JVTAは受講生一人ひとりに対してプロ化

までのロードマップを明確に示します。

東京校への通学はもちろん、通学が難しい方には株式会社アルクとの共同事業により世界のどこにお住まいでも受講可能な「映像翻訳Web講座」を開発。また、映像コンテンツ制作の本場であるロサンゼルス校では、現地の通学生をはじめ、M-1ビザ（職業訓練学生ビザ）で渡米した留学生が学んでいます。そして修了後には、全ての修了生に平等なトライアル（プロ試験）の

機会を提供しています。

時代の変化を楽しみ、学び取った力で社会を豊かにしたい、「言葉のプロ」として働き続けたい——。そんな思いを抱えている方は、ぜひ一度、JVTAを訪れてください。

日本映像翻訳アカデミー／代表 新楽直樹



variety and lifestyle television programs from around the world. The market for visualmedia translation is booming as corporations, public interest groups, universities, and other entities shift toward communicating via visualmedia content. In addition, many visualmedia translators are breaking into the fields of closed captioning and audio guidance for people with visual or hearing impairments, which the Ministry of Internal Affairs and Communications is advancing. This is only the cusp of an even greater number of fields for which visualmedia translation skills will be in demand.

Another noteworthy trend is the expanding need for Japanese to English visualmedia translation. Since the implementation the Cool Japan Strategy, the Japanese government has

ignited a vast business expansion helping creators bring rich visualmedia content like films, dramas, and anime to the world. At the forefront of this trend, JVTA established a curriculum for Japanese-English visualmedia translation in 2008 at both the Tokyo and Los Angeles campuses. Many of the professionals involved in visualmedia translation for Japanese content are our alumni.

Professional training customized to each individual's career path

JVTA guides each student along a clear road map to their professional debut.

We not only offer courses at our Tokyo campus but have also developed a visualmedia translation course in partnership

with ALC Press, Inc. that can be taken online from anywhere around the world. At our Los Angeles campus, located near the epicenter of visualmedia production, students can study abroad on vocational training student visas (M-1 visas). After finishing our program, all graduates are given the opportunity to take a trial examination to become a professional translator.

We at JVTA welcome anyone with an appreciation for the changing times who is looking to enrich society with a unique set of skills and pursue a career as a linguistic professional.

Naoki Niira, President
Japan Visualmedia Translational Academy Co., Ltd.

● 本パンフの使い方

パンフレットは映画の三幕構成になぞらえて作りました。

Act1 JVTA VISION
Act2 JVTA COURSE
Act3 JVTA STYLE

ハリウッド映画の大半は「三幕構成」で作られています。三幕とは「Act1セットアップ（設定）」「Act2 コンフリクト（葛藤）」「Act3 レゾリューション（解決）」です。

Act1のセットアップでは、当校代表の新楽から「JVTAのミッションと映像翻訳業界の未来」、職業訓練校としての強みと映像翻訳者になる魅力のエッセンスをお伝えします。

Act2のコンフリクトでは「プロになるまでの流れ」と当校のコースとカリキュラムを紹介し、コンフリクトはドラマに欠かせない要素です。葛藤を乗り越えた先に「デベロップメント（発展、成長）」があるからです。

Act3 のレゾリューションでは、JVTAスタイルと称し、我々の強みを改めて紹介。スタイルとは、どんな困難な状態でも貫ける「自分らしさ」という意味です。最後に、悩みや困難に直面しつつも、自ら一歩を踏み出し、スタイルを確立した修了生の声をお届けします。

修了生の6割が

プロとして仕事ができる理由



修了生の6割がプロの翻訳者として活躍できる理由は、映画会社やテレビ局などから映像翻訳業務を受注し、プロとなった修了生に仕事を発注する翻訳受発注部門を運営していることです。同部門は受託した映画、ドラマ、ドキュメンタリー番組などの翻訳業務の全てを修了生に依頼。デビュー直後からすぐにプロとしてのキャリアが積めるようにしています。さらに依頼に関しても、できるだけ修了生の希望する働き方やキャリアプランに応じた内容のものを選ぶようにしています。



プロデビューするには規定のコースを受講後、修了トライアルに挑戦し、合格する必要があります。たとえ、このトライアルに不合格の場合でも、オープントライアルに再挑戦することができます。プロになった後は、業務を進行管理する映像翻訳ディレクターが丁寧に仕事の進め方を指導していくので安心して仕事に臨めます。



海外の作品を日本語に翻訳する英日映像翻訳は、東京校での通リモート受講の他、米国にあるロサンゼルス校、英語教育のアルクとJVTAが運営する通信講座・映像翻訳Web講座で学ぶことができます。日本の作品を英語に翻訳する日英映像翻訳も東京校でのリモート受講か、ロサンゼルス校に留学して学ぶことが可能です。また、英文解釈力や日本語表現力を集中的に強化するコース、苦手としているスキルの強化やトライアル対策などを目的とした課外講座も充実しています。

※2020年9月以降、リモートのみで開講

映像翻訳者の魅力

動画配信サービスの進展により、言葉で世界をつなぐ映像翻訳者のニーズは増え続けています。それに伴い、海外の映像を日本語に訳す英日映像翻訳者の活躍するステージがより広がりを見せています。

日本の映像作品の海外への発信もますます加速。その動きはアニメやマンガにとどまりません。今や映画、ドラマ、リアリティ、ドキュメンタリーなどのエンターテインメントコンテンツがグローバルマーケットを視野に制作されています。日英映像翻訳者の活躍の場は拡大を続けるでしょう。



映像翻訳の仕事の魅力は、インターネットがつながる環境があれば、時間や場所にとらわれず仕事やスキルアップができることです。昨今のコロナ禍においても、自宅でキャリアを重ね続けることができます。JVTAの課外講座などで学び、仕事の幅を広げる人も少なくありません。また、「子育てをしながら翻訳する」「海外で生活しながらドラマの翻訳をする」—そんなライフスタイルも実現できます。長く活躍できることも魅力です。翻訳にはさまざまな人生経験を生かせることから、「年齢を重ねた方に仕事がない」ということもありません。



英語と映像が好きなら、どんな人でもプロになれるチャンスがあります。英語力はあるに越したことはありませんが、それはプロになるために必要な要素の1つにすぎません。それよりも、映画やドラマが大好きでよく見ている、日本語の文章を書くのが好きといった方が数多くプロの映像翻訳者になっています。

プロになった後のキャリアも多様です。専業の映像翻訳者として活躍している方はもちろん、会社勤めをしながら翻訳者としても仕事をしている方、学んだ知識を生かして映画会社やマスコミ業界、海外の企業に転職した方もいます。



入学からプロになるまでの流れ

入学前

通学場所・
受講形態

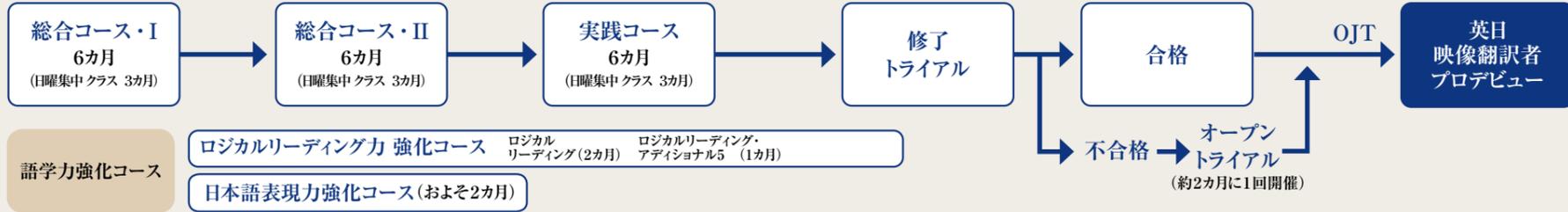
受講可能なコース

トライアル

念願のプロに

英日映像翻訳コース 海外の映像を日本語に翻訳する

英日映像翻訳科

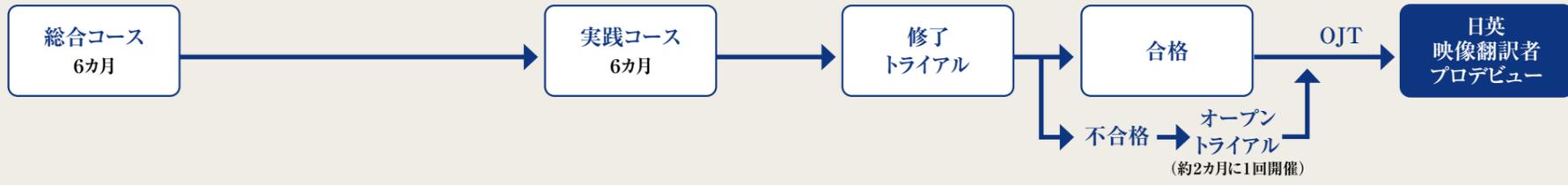


映像翻訳Web講座

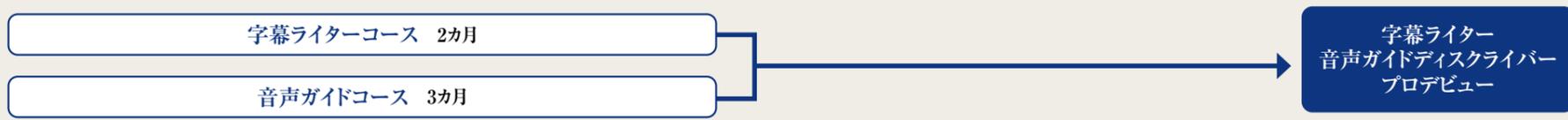


日英映像翻訳コース 日本の映像を英語に翻訳する

日英映像翻訳科

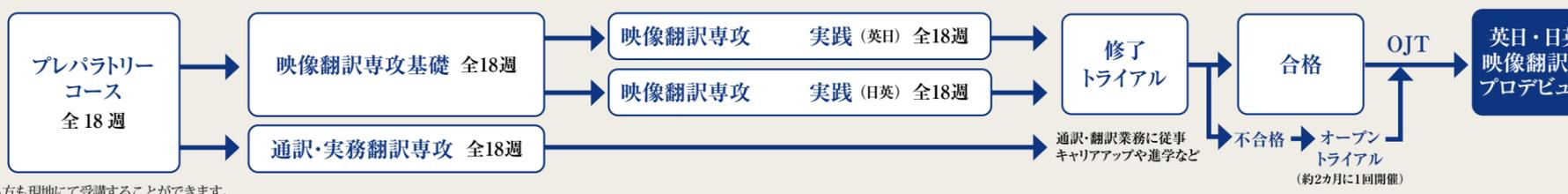


メディアアクセシビリティ科 映像をバリアフリーにする



ロサンゼルス校 映画の本場に留学して学ぶ

M-1ビザ留学コース



※すでにアメリカに居住している方も現地にて受講することができます。

最短9カ月でプロデビューも

コースは大きく3つあります。海外の映像作品につける日本語字幕や吹き替えの台本を作成する翻訳者を目指す「英日映像翻訳科」。日本の映像作品につける英語字幕などを作成する「日英映像翻訳科」。米国のロサンゼルスに留学して映像翻訳や通訳・実務翻訳を学ぶ「M-1ビザLA留学コース」です。

プロになるまでの流れを受講者が最も多い「英日映像翻訳科(東京校・リモート)」を例に説明します。プロになるには「総合コース・I」「総合コース・II」「実践コース」の順番に3コースを受講します。受講期間はそれぞれ約6か月。実践コース修了後にトライアルを受験し、合格すると1か月間におよぶOJTを経てプロとしてデビューします。

トライアルに不合格の場合でも心配無用です。約2か月に1回開催するオープントライアルに合格すればプロになることができます。短期間での修了を目指す方は、1日2コマの講義を受け、1コースを3か月で修了する日曜集中クラスがおすすめ。最短9カ月でプロデビューできます。

「日英映像翻訳科(東京校・リモート)」でプロになる流れも同じです。総合コース、実践コースを受講した後、トライアルに挑みます。

ロサンゼルス校への留学コースには、映像翻訳専攻と通訳・実務翻訳専攻があり、英語力に自信のない方に向けたプレパラトリーコースも用意しています。

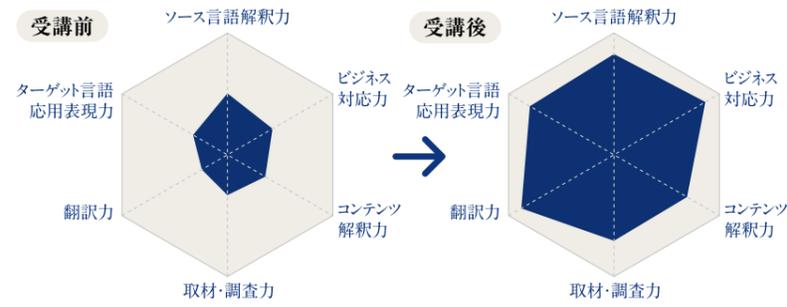
各コースの詳細は、12ページのインデックスを参考にご覧ください。

オープンスクール、スクール説明会、個別相談のいずれかに参加(必須)

レベルチェック
テスト受験

プロを育てるメソッド

Point 1 ゴールから逆算してカリキュラムを編成



全てのコースに共通するのは、プロになるというゴールから逆算してカリキュラムを組んでいることです。修了生に仕事を発注するための部門であるMTCを持つ強みを生かし、プロの現場に必要なスキルを把握。それらを基に「映像翻訳者に必要な6つの資質」を定義し、バランス良く学べるようになっています。修了時、スキルアップしている自分に驚くはずです。

Point 2 「知識→演習」の繰り返しで実践力を養う

	総合コース・I	総合コース・II	実践コース
知識	目的 映像翻訳とは何か、エッセンスを学ぶ 講義 知識が中心。後半は基礎的な演習を行う 学習時間* 10時間	目的 プロに必要なスキルを網羅的に学ぶ 講義 複数の翻訳手法を習得する実践的な演習 学習時間* 15時間	目的 プロに必要な質・量をこなせるようになる 講義 模擬発注などプロを想定した演習が多い 学習時間* 20時間
演習	指導 楽しむことを優先し、良いところを伸ばす 英語力の目安 不問	指導 視聴者を想定したフィードバック 英語力の目安 TOEIC 730点	指導 顧客への納品を意識したフィードバック 英語力の目安 TOEIC 800点

*課題、自己学習を含む1週間あたりの推奨学習時間の目安

授業の進め方の特長は、必要な知識を学んだ後、すぐに演習を行うことで効果的にスキルアップができることです。コース間の難易度を徐々に上げることで確実にステップアップできるように工夫しています。左は英日映像翻訳科の3コースの違いを記したものです。実践コースはクライアントを想定した模擬発注形式の講義を行い、リアルに備えます。なお、進級は各コース修了時の面談や評価を踏まえて、ご自分で決めることができます。

Point 3 先進的な指導メソッドと親身な個別フォロー



チーム翻訳とは、複数人で翻訳することで、スムーズなデビューの機会を与える他、チーム内での情報共有やフィードバックによって高い学習効果が得られます。反転授業は事前課題に取り組み、講義ではそれを基に発展的な内容に取り組むことで効率的にスキルアップします。全クラスにチューターをつけ、個別フォローも親身に行います。

JVTA 全コース紹介

英日 映像翻訳科

- 総合コース・I p13~
- 総合コース・II p15~
- 実践コース p17~
- 映像翻訳Web講座 p19
- メディア・アクセシビリティ科 p20
- ロジカルリーディング力強化コース p21
- 日本語表現力強化コース p22

日英 映像翻訳科

- 総合コース p23~
- 実践コース p25~

ロサンゼルス 留学

- ロサンゼルス校留学コース p27~

プロを目指す人から英語力を生かして働きたい人まで

英日映像翻訳科 総合コース・I (リモート受講)

主な受講対象者

- ・映画・英語に興味がある
- ・はじめて映像翻訳に触れる
- ・英語力は不問

学習到達目標

- ・基本的な字幕・吹き替えのルールを学ぶ
- ・自分で字幕を作ってみる
- ・映像翻訳の種類を学ぶ

総合コース・Iのカリキュラム

- 全17回開催(※基礎マスター 6回と応用トレーニング11回)、受講期間6カ月(※日曜集中クラスは3カ月)
- 基礎マスター(初回~6回分)だけの受講も可能

主なカリキュラム

基礎的な知識	映像翻訳概論入門	翻訳スキルの基礎①・②	日英映像翻訳概論と作品解釈	
基礎的な演習	字幕翻訳のルール	字幕翻訳の基礎①・②	吹き替え翻訳の基礎 (ボイスオーバー・リップシンク)	日本語表現力の基礎
応用的な知識	字幕翻訳の演習①・②	字幕制作ソフトの演習(初級)	戦略としてのAI翻訳	
応用的な演習	日英字幕翻訳	映像翻訳者に求められる仕事への対応力		

※全17回。ここで紹介していない授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

海外の映画やテレビドラマなどを翻訳する映像翻訳者を目指す際、最初に受講していただくのが「総合コース・I」です。

とにかく楽しんで、映像翻訳のエッセンスを学ぶ

このコースの目的は、楽しみながら映像翻訳のエッセンスを学ぶこと。ハリウッド映画や海外の人気ドラマ、ドキュメンタリー番組などさまざまな映像素材に触れて、映像翻訳者に必要な知識やスキルをじっくりと学びます。

プロの映像翻訳者になるために欠かせないのが“素材”である映像が好きであるということ。海外の映像を観るのが好きで、その魅力を多くの人に伝えたい。その気持ちがあれば、プロになる資格は十分です。英語力は二の次で大丈夫。

もちろんプロになる時点で相応の英語力は必要ですが、本コースは楽しんで学べることを最重視し、英語力の

不足によって授業についていけなくなるようなカリキュラムを組んでいません。

授業内容は、まず映像翻訳業界の成り立ちや仕組みを学び、次に「1秒4文字、字幕は1画面に2行まで」といった字幕翻訳の基本的なルールなどを学びます。

その上で簡単な演習に入ります。短い映像を題材に、英文のスク립ト(セリフなどを書き起こしたもの)を使い、字幕を作ります。

総合コース・Iの授業は全17回です。最初の6回分だけを受講できる制度もあり、試しに受講して映像翻訳の楽しさや適正を確認した後、残りの11授業を申し込むことも可能です。また1日に2コマの授業を行い、通常6カ月の受講期間の半分にあたる3カ月で修了できる「日曜集中クラス」もあります。ご自分の希望やライフスタイルに応じて選んでください。



講師がアドバイス

誰かに伝えたい気持ちが プロへの出発点になる



映像翻訳ディレクター
藤田奈緒

難民映画祭の字幕制作総合ディレクター。ジャンルを問わず、数々の映像作品を手がけている。

プロの映像翻訳者になる出発点は、素材に興味を持ち、その面白さを誰かに伝えたいと思う気持ちです。

例えば、海外のテレビドラマや映画が大好きで、暇があったら観ている。その作品の何が面白いのかを、自分なりに分析して、それを友達に話したり、ブログやSNSなどで発信したりしている。そんな人は、プロの映像翻訳者になる資質を十分に兼ね備えていると思います。

映像翻訳者に求められる能力として、作品解釈力があります。解釈という言葉は辞書で引くと「意味や内容を解きほぐして明らかにする」「物事や言動につい

て、自分なりに考えて理解すること」などとありますが、映像翻訳者に求められる作品解釈力も正しく同じです。

翻訳という仕事柄、英語力は必要です。文法や単語の意味を理解し、誤訳しない、独りよがりの翻訳にならないように客観視する力なども必要です。しかし、そうした力は当校のコースを受講する過程で自然と身につきます。

映像翻訳者になった瞬間、あなたは作品を単に見る側から「作り手」へと変わります。作品の背景を理解し、ニュアンスを直感的にくみ取った翻訳ができた時の爽快感はたまりませんよ。



修了生からのエール

映像翻訳に必要なスキルの 基礎が身につく



2022年10月期
英日総合コース・I 修了
林友理恵さん

総合コース・Iは映像翻訳の基本的なルールやテクニックはもちろん、英語の読解力、作品解釈力、日本語表現力など、翻訳に必要なあらゆる内容を学べる授業でした。「作品構成の理解」の授業では、映像作品がどのような構成で作られているかを教わり、授業を受ける前と後で映画鑑賞の仕方が大きく変わりました。また「日本語表現力の基礎」では、英日翻訳における日本語表現力の大切さを学びました。映像翻訳に必要な幅広いスキルの基本を身につけることができ、更なるレベルアップを目指して総合2に進みたいという気持ちが高まりました。



COLUMN

まずはリモートオープンスクールで体験

映像翻訳の魅力を半日で体験するというコンセプトで開催しているのがオープンスクールです。

プログラムは業界ガイド「映像翻訳の“いま”と“これから”を知る」

「プロが指南！日本語字幕体験レッスン」「スクール説明会」など盛りだくさんです。

お申し込みは電話又はホームページから。ぜひ、気軽にご参加ください。



プロになるために必要な知識とスキルを全て学ぶ

英日映像翻訳科 総合コース・II (リモート受講)

主な受講対象者

- ・英日映像翻訳科 総合コース・I 修了生
- ・映像翻訳Web講座プラクティスコース修了生
- ・TOEICのスコアの目安730点

学習到達目標

- ・映画・ドラマ・ドキュメンタリー番組など多様なジャンルへの対応力を身につける
- ・視聴者を意識した原稿の書き方を学ぶ

総合コース・IIのカリキュラム

- 全21回開催、受講期間6カ月(※日曜集中クラスは3カ月)

主なカリキュラム

基礎的な知識	映像翻訳概論	作品解釈①	日英字幕翻訳
基礎的な演習	翻訳演習①～③	字幕翻訳の演習①・②	吹き替え翻訳基礎 (リップシンク①・②、ボイスオーバー①) 日本語表現を磨く
応用的な知識	フリーランサーとしての働き方	戦略としてのAI翻訳	
応用的な演習	字幕制作ソフトの演習 (中級①・②)	字幕翻訳の演習③・④	吹き替え翻訳基礎 (ボイスオーバー②・③)

※全21回。ここで紹介していない授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

総合コース・IIの目的は、プロになるために必要な知識やスキルを網羅して学ぶこと。本コースの受講修了時には、プロとして仕事ができるレベルまで引き上げます。

でも臆する必要はありません。カリキュラムを見れば、授業テーマは総合コース・Iと大きくは変わりません。異なるのは、演習で使う映像の難易度です。

まず、課題映像の時間が伸びます。1分程度の映像の場合、極論すれば、英語を日本語に置き換えるだけで翻訳できるのに対し、それが数分ともなると前後のシーンやストーリー全体をつかむ作品解釈力が求められます。また視聴者を意識した翻訳も必要で、それを効果的に伝えるために日本語表現力を磨く必要もあります。

6つの資質をバランス良く伸ばしてプロに導く

当校では、映画配給会社やテレビ局などから映像翻訳業務を

翻訳受発注部門を併設する強みを生かし、プロとして活躍できる力を「映像翻訳者に求められる6つの資質」として定義。その中に「ソース言語解釈力」「翻訳力」「ターゲット応用表現力」が含まれていますが、総合コース・IIではプロになるというゴールから逆算して演習課題を設定し、6つの資質をバランス良く伸ばせるようカリキュラムを組んでいます。

もう1つの特長が、吹き替え翻訳もしっかり学ぶこと。「映像翻訳＝字幕制作」と想像する人は多いですが、興行収入が250億円を超えた映画『アナと雪の女王』は吹き替え版の観客が約半数を占めているなど、実態は大きく違います。それを知らず、字幕翻訳だけを学び、吹き替え翻訳を経験せずにプロになってしまったら獲得できる仕事の半分を失うことになってしまう可能性もあります。映像ジャンルに応じて、適切な手法で翻訳できる力を養います。



講師がアドバイス

スキルから作品理解まで 演習を重ねて総合力を養う



映像翻訳ディレクター
桜井徹二

本科の講義のほか、高校・大学など学校教育機関でも講義を担当している。

総合コース・IIの目的は、総合コース・Iで学んだ知識やスキルを土台にして、より専門的な演習を積み、プロになるための訓練を本格的に行う実践コースへと橋渡しすることです。

総合コース・IIになると総合コース・Iよりも課題映像の時間が伸びます。たかが数分と思うかもしれませんが、映像翻訳に求められるスキルや知識はより深く、広範になります。調べ物をする力、前後の流れからストーリーをつかむ力、それらを伝える日本語で表現する力などです。

映像の時間が伸びたことで、最初

は課題に取り組むのが大変だと思います。しかし、この大変さを乗り越えた先に、映像翻訳の醍醐味が待っています。単なるワンシーンを翻訳するのではなく、作品への理解や制作者の意図をくみ取りつつ、多くの人に伝わる言葉で翻訳する。そこに自分の感性や創造性を投影できるからです。

コース修了時にはスポッティングや吹き替え音声翻訳などのスキルから、映像の構成や背景を読み解く力まで、映像翻訳に必要な“総合力”が養われていることが実感できるはず



修了生からのエール

総合1の学びを生かし、 表現の幅を広げる



2021年4月期
英日総合コース・II修了
鹿野裕人さん

基礎的なルールを学ぶ総合コース・Iに対し、総合コース・IIは学んだルールに基づき表現の幅を広げる授業でした。例えば番組のトーンに合わせた字幕の作り方や、主語の扱い方といった内容です。日本語表現で迷う場面も増えていきます。中でも印象に残っているのが「翻訳演習」の授業。とても緊張感の漂う授業だったのですが、それを乗り越えたことでプロの翻訳者としての胆力がつきました。私が今仕事で関わる世界中のクライアントから「プロフェッショナルな仕事ぶりに感動した」と言ってもらえるのはその授業のおかげだと思っています。



JVTA Onlineでリモート受講をサポート

「JVTA Online」は受講生が快適に学ぶためのラーニング・マネジメント・システムです。最新のセキュアなクラウドサービスと連携するから、どこからでもアクセス可能。安心してリモート受

講できる機能を備えています。受講生は課題に取り組むために必要な映像や資料をダウンロードしたり、提出物をアップロードしたりできます。登録をすれば、どなたでも利用ができます。



模擬発注などプロ仕様の実践講義でデビューに挑む

英日映像翻訳科 実践コース

(リモート受講)

主な受講対象者

- ・英日映像翻訳科 総合コース・II 修了生
- ・映像翻訳Web講座アドバンスコース修了以上
- ・TOEICのスコアの目安800点

学習到達目標

- ・プロとしての実務フローを習得する(量・スピードへの対応力、チーム翻訳)
- ・原稿の完成度を上げ、プロとして通用するレベルを目指す

実践コースのカリキュラム

- 全22回開催、受講期間6カ月(※日曜集中クラスは3カ月)

主なカリキュラム

専門的な知識	仕事のノウハウ(プロデビューに備えて)			
実務的な演習	吹き替え翻訳の演習 (リップシンク演習①・②)	吹き替え翻訳の演習 (ボイスオーバー演習①・②)	翻訳演習(応用)	戦略としてのAI翻訳(実践)
模擬発注	模擬発注(ボイスオーバー①・②)	模擬発注(字幕①~④)		

※全22回。ここで紹介していない授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

総合コース・IIの受講を修了した時点で、多くの受講生は映像翻訳のルールや手法は理解しており、時間をかければ翻訳できる状態になっています。

実践コースの目的は、映像翻訳の質と量の両方を高め、修了後すぐにプロとして活躍できることです。プロに限られた時間の中で精度の高い翻訳をする必要があります。そうなるために実践的な演習を重ねてレベルアップを図ります。

課題映像のレベルは一段と上がります。2回の授業で30分番組を丸々1本題材とする場合もあります。番組1本ともなると翻訳力に加え、ストーリーの構造を理解したり、全体のトーンやマナーを揃えて翻訳したり、作品の背景を理解するためにリサーチしたりと、より広範で高度なスキルが必要とされます。

実践コースは、講師からのレクチャーは最低限にとどめて、受講生が行った課題に対して、クライアントへの納品を

意識したレベルのフィードバックやクラス内でのディスカッションなど、ワークショップ主体の授業となります。

「模擬発注」形式の授業でプロの水準に引き上げる

コース後半では、模擬発注形式の演習を繰り返します。さらに字幕制作ソフトの高度な使い方やフリーランサーの営業方法など、実践的なテクニックやノウハウを教えて、プロデビューできる水準まで引き上げます。

授業回数が全22回というタフな行程を終えたら、全ての修了生がトライアルに挑戦できます。合格した場合は、約1カ月間のOJTを経た後、翻訳受発注部門から業務を委託され、プロデビューを果たします。デビュー後は、希望する映像ジャンルや好きなテーマをMTCのディレクターと相談しながらキャリアアップを図ることができます。



講師がアドバイス

トライアル不合格でも 的確な指導で再チャレンジ



映像翻訳ディレクター
片柳伊佐
テレビ放送番組の字幕・吹き替え翻訳や企業関連動画、テキスト翻訳などのディレクションを手がけている。

実践コースの修了時に行う修了トライアルの合格率は、全体の2割程度です。少ないと思うかもしれませんが、約2カ月に1回の頻度でオープントライアルを実施しており、そこで受かる方も含めると、最終的に修了生の6割前後がプロデビューを果たします。

この6割という数字の理由の1つに、トライアル受験者をフォローする当校独自の体制が挙げられます。

例えば、トライアルの受験者に対して行う「フィードバック」。受験者全員の前稿を「英文解釈」(誤訳や訳出不足などがあつたか?)、「日本語表現」

(不自然な表現などはないか?)、「コンテンツ解釈」(作品の構成や背景を理解できているか?)、「取材・調査」(しっかりと裏取りができていますか?)など、「映像翻訳者に必要な6つの資質」に基いた項目で細かく評価します。その結果を、本人にフィードバックすることで、自分の原稿の何が良くて、何が悪かったのかがはっきりと分かり、苦手な項目を集中的に学習できます。また、次点の合格者には、MTCスタッフからスキルアップの方法などを直接、フィードバックします。



修了生からのエール

実務を想定した内容が 仕事で役立っている



2021年10月期
英日実践コース修了
前田理子さん

実践コースでは課題が実際の仕事を想定した形式になり、量も増え、求められる水準も上がりました。すぐに実務に活かせるような内容に重点が置かれており、避けた方がいい表現や視覚的に読みやすい字幕の作り方など、質の高い翻訳するためのポイントを様々な切り口で学びました。学んだ内容は、今仕事をする上ですべて役立っていると感じます。映像翻訳を行う際の心構えやテクニックを学んだのはもちろん、仕事を想定した課題に毎週全力で取り組んだ経験がとても生きています。おかげで初仕事の際も落ち着いて取り組むことができました。

COLUMN

トライアル合格前にプロの仕事を実感する実践形式のゼミ

日英映像翻訳科の実践コース修了生が参加できる課外講座の1つが英語字幕PROゼミです。講師やMTCディレクターからの指導を受けながら、実際に国内外の映画祭で上映される日

本の映画やアニメに英語字幕をつけるという講座です。手分けして作業を進める「チーム翻訳」は、多くの翻訳案件で採用されているスタイル。一足先にプロの仕事を実感できます。



自宅で映像翻訳の学習をしたいという方に

映像翻訳Web講座

ベーシック、プラクティス、アドバンス、プロフェッショナル

映像をバリアフリーにする

メディア・アクセシビリティ科

字幕ガイドコース、音声ガイドコース (リモート受講)

主な受講対象者

- ・洋画や海外ドラマが大好き
- ・英語力を生かして映像翻訳の分野で活躍したい
- ・自宅で映像翻訳を学びたい

学習到達目標

- ・ベーシックコース&プラクティスコース…映像翻訳の基本テクニックを学ぶ
- ・アドバンスコース…セリフを字幕毎に区切るスキルを身につける
- ・プロフェッショナルコース…「量」にも対応できる精度の高い翻訳技術の習得

主な受講対象者

- ・映画やドラマが好きな方
- ・映像翻訳スキルを生かしたい方
- ・映像コンテンツに関わる仕事がしたい方

※詳しい受講対象者資格は当校のホームページでご確認ください。

学習到達目標

- ・音声ガイドやバリアフリー字幕を必要とする方のニーズを把握し、基本ルールを踏まえながらも、固定観念にとらわれずに工夫をすることができる力を身につける

映像翻訳Web講座のカリキュラム

- 受講期間は、ベーシックコース3か月、プラクティスコース6か月、アドバンスコース7か月、プロフェッショナルコース6か月
- いつでもお申し込みが可能

各コースの主なカリキュラム

ベーシックコース	字幕の基本ルール (ショートフィルム/字幕)	吹き替え翻訳の基本ルール (自然ドキュメンタリー/ボイスオーバー)	
プラクティスコース	字幕制作ソフト実習 (自然ドキュメンタリー/字幕)	字幕制作ソフト実習 (短編映画/字幕)	吹き替え翻訳 (ショートフィルム/リップシンク)
アドバンスコース	吹き替え翻訳 (ドキュメンタリー/ボイスオーバー)	字幕翻訳の実践 (短編映画/字幕)	
プロフェッショナルコース	模擬発注 (野生生物ドキュメンタリー/字幕)	模擬発注 (野生生物ドキュメンタリー/ボイスオーバー)	模擬発注 (ショートフィルム/字幕・リップシンク)

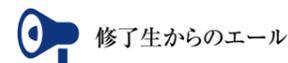
※字幕と吹き替えのスキルをもう一度磨きなおし、プロとして通用するレベルにまで高めるスキルアップコース・字幕/スキルアップコース・吹き替え(ボイスオーバー)もご用意しています。

映像翻訳Web講座は、「英辞郎 on the WEB」「1000時間ヒアリングマラソン」など英語教育で実績のあるアルクとJVTAが共同運営するプロの英日映像翻訳者を養成するeラーニングの通信講座です。いつでも学習をスタートすることができます。

本コースの大きな特長は、最短22か月間で、プロの映像翻訳者を目指せるということ。ベーシックコース(3か月)からスタートし、プラクティス(6か月)、アドバンス(7か月)、プロフェッショナル(6か月)の順で修了すれば、英日映像翻訳科の修了生と同じようにトライアルを受験することができます。それに合格すれば、JVTAの翻訳受発注部門から仕事が発注されます。

ネット上で提出した課題は、プロの映像翻訳者が添削し、きめ細かくフィードバック。また、コース修了時には、

JVTAスタッフによる個別相談や、通学コースへの転入の相談などにも対応しています。ベーシックコースでご自身の適性を測ってみたいという方にもおすすめです。



通信講座でもプロデビューまで丁寧にサポート

地方在住で子育て中でも受講ができ、Webだけで完結できるのでこのコースを選びました。時間の縛りもなく、自宅で自分のペースで勉強を進めることができました。トライアル合格後のサポートであるOJTも丁寧に受けられ、念願のプロデビューを達成。現在はドラマや映画、企業関連の字幕、リアリティ番組の吹き替えなどを手がけています。



2021年8月修了
高山智絵さん

メディア・アクセシビリティ科のカリキュラム

- 字幕ガイドコース
- 音声ガイドコース

各コースの主なカリキュラム

字幕ガイドコース	場面転換	登場人物の紹介の仕方	情景描写	セリフとのコンビネーション	モニター検討会
音声ガイドコース	話者名の表記における配慮	セリフ以外の音情報の伝え方	テレビ放送用クロズドキャプション制作演習		

※ここで紹介していない授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

目や耳の不自由な人たちが映像を楽しめるように、人物の動きや場面転換などの視覚情報を音声で解説する「音声ガイド」と、セリフやナレーション、音楽や効果音の説明、話者名などを文字で表す「バリアフリー字幕」の制作スキルを学ぶ講座です。

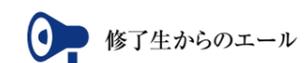
カリキュラムは、プロの制作者としての心構えや技術を習得するように構築されています。

講義では、ほぼ全ての回に課題が出されます。講義中には受講生同士のディスカッションの時間を多く設け、自ら考える力を養います。音声ガイドのクラスでは、「当事者の声」を知り、原稿に反映するトレーニングとして、視覚障がい者を招いた「モニター検討会」を導入していることも大きな特徴です。

アクセシビリティ科を修了後、優秀な成績を取った受講生には優先的に仕事が発注されます。プロデビュー後も、JVTAバリアフリー事業部のプロデューサーとディレクターが直接指導を行い、継続的なサポートをします。

修了生は、映画やテレビ、DVD/Blu-rayなどの既存メディアに加え動画配信サイトにおいて、ドラマやアニメ、時代劇、スポーツなどさまざまなジャンルで、音声ガイドディスク

ライター、字幕ライターとして活躍しています。「日本のドラマや映画が好き」、「ボランティアの経験を生かしてプロのスキルを身につけたい」、「子育てや介護をしながら在宅で仕事をしたい」という方のほか、「映像翻訳のスキルを生かして新たなキャリアにしたい」という方にもおすすめの講座です。



地方在住でも実践的な授業で字幕制作者になれた

セリフを書き起こすだけでなく、話者名や音の情報、読みやすさを意識した表記やレイアウトなどを極めるスキルに、「物事に敏感でこだわりのある性格を生かせる」と思い受講。リモートでも課題で抱いた疑問は授業内で解決、安心して実務に進めました。現在はアニメ、ドラマ、バラエティとそれぞれの字幕の特徴を楽しみながら取り組んでいます。



2023年3月修了
字幕ライター養成講座修了
鵜城尚江さん

機械翻訳に打ち勝つ‘翻訳者の思考力’を習得する

English Clock ロジカルリーディング力 強化コース

(リモート受講)

主な受講対象者

- ・英語を「読めているつもり」のレベルから脱却したい
- ・理解した内容を自分の言葉で説明できるようになりたい
- ・TOEICスコアの目安730点

学習到達目標

- ・難しい語彙や表現、複雑な構造が出てきても理解が曖昧にならない
- ・文章内の広範囲に散らばる情報の関連付けができる

ロジカルリーディング力 強化コースのカリキュラム

- ロジカルリーディング力 強化コースは全8回、“アディショナル5”は全5回
- JVT Aでの受講経験がない方の受講も可能 ※“アディショナル5”は受講条件あり

各コースの主なカリキュラム

ロジカルリーディング	反対の関係と同一の関係	引き継ぎと展開	背景の理解	段落のテーマ
アディショナル5	視聴者がスムーズに理解できるセリフの作成法			

※ここで紹介していない授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

本コースでは英文読解を高度な知的活動と捉え、英文を「何となく読める」レベルから脱却し、確実な根拠に基づいて理解した内容を、自分の言葉で説明できるようになるまで考え抜くトレーニングを行います。英字紙の社説やドキュメンタリー番組の SCRIPT など深い内容の素材を訳しながら、英文を貫く論理の見だし方、筋の通った訳文の作り方を学びます。

基礎編「ロジカルリーディング」の第1講は『人間的な翻訳を目指して』と題して、機械翻訳による原稿を校正しながら、“血の通った訳文”とは何かを考えます。AI技術が著しく発達したこの時代、機械翻訳に任せてもそれなりの訳文が出来上がるようになりました。目の前にある英文をただ日本語に変換するだけなら、誰でも対応は可能です。そのレベルに留まるなら、翻訳者の存在価値は無いといえるでしょう。第2講では論理構成の理解に必須の「反対の関係」と「同一の関係」について学び、第3講『英語のクセ』では省略、比喩表現、ユーモアなど捉えることが難しい表現の解釈を習得します。最終的にはキーワードを拾いながら話者の主張の根幹にある思想を読み取ることに臨みます。

AI時代に生き残る翻訳者は、英文の深層や思想を読み解きます。言葉の裏にある意味まで読み通せるようになれば、英語を読むことがさらに面白くなり、翻訳力の向上に必ず役立つはずです。

さらにステップアップするための「ロジカルリーディング・アディショナル5」では、字幕やボイスオーバー原稿の作成を通じて、視聴者の頭の中に“理屈”がスムーズに入り込むセリフの作成法を学びます。



講師がアドバイス

根拠のある訳文づくりができていますか？

翻訳者は何よりもまず根拠のある訳文づくりができないとなりません。そこで必要になるのがロジカルリーディング力。読んだ内容(英語)を頭の中で整理し、自分の言葉(日本語)で理屈を再構築して説明する力です。英日翻訳とは英語で読んだ意味内容を日本語で表現すること。そのスキルを、共に学んでいきましょう。



映像翻訳者
山根克之講師

映像翻訳者やビジネスパーソンに必須の高い日本語力を徹底して磨く

日本語表現力強化コース (リモート受講)

主な受講対象者

- ・プロとして通用する日本語ライティングを習得したい
- ・いままで身につけた日本語力をブラッシュアップしたい
- ・ビジネスパーソンとしてもっと高い日本語力を身につけたい

学習到達目標

- ・プロの映像翻訳者として活躍できるだけの日本語ライティングのスキルを身につけている
- ・編集者、ライターレベルの日本語ライティングができる

日本語表現力強化コースのカリキュラム

- ①【文章理論と基本演習の講座】一読で伝わる文章理論・技術を学ぶ(全4回)
- ②【徹底した個別添削の講座】実務を模した課題と添削で魅力的な文章を書く技術を学ぶ(全4回)

主なカリキュラム

講座①	文頭・文末の処理方法	取捨選択の方法を学ぶ	“ねじれ”のない書き方
講座②	実践的な理論を	素早く理解できる文章を書く	迷わせない文章を書く

※ここで紹介していない授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

本コースは、当校の代表者である新楽直樹とプロの編集者としても活躍する主任講師の丸山雄一郎が、授業毎に用意した課題を通して日本語表現力を指導します。

プロとして活躍する英日の映像翻訳者や翻訳ディレクターが、映像翻訳者に必須な要素としてまず挙げるのが「英語の解釈力」と「日本語の表現力」の2つです。その中でも特に日本語の表現力は重要だといわれています。英日作品のアウトプットは日本語であり、その作品を観る観客や視聴者は翻訳者の生み出した表現によってしか、作品の良し悪しを判断できないからです。極論すれば、英日の映像翻訳者の評価は、日本語表現力によって決まると言ってもいいでしょう。

授業毎の課題はさまざまですが、常に課題原稿の掲載先を設定し、その読者にとって本当に興味深く、分かりやすい表現になっているのかを指摘し、より適した表現を生み出すための方法をフィードバックしていきます。また、文章を作っていく上で必要な「文の構成」や「文法」などについてもお教えしていきます。“伝わる表現”を生み出すためのテクニカルな面にフォーカスした内容です。

他の翻訳スクールにはないJVT A独自の本コース。映

像翻訳者としてのスキルだけでなく、会社の業務、趣味のブログといった文章に携わる全てに、この授業での経験が生きるはず。日本語の表現力に不安を感じている方に、また、もっと高い日本語表現力を身につけることを目指している方におすすめです。JVT Aの受講生・修了生以外の方の受講も可能です。



修了生からのエール

文章を書く演習で翻訳への意識も変わった

伝わる文章はどこが違うのか。無意識だったことを意識化する内容が詰まった講座です。授業では、助詞の使い方や文の構成など、実例を掘り下げて、みっちり学びます。課題に対する講評では、情報の出し方、取捨選択の仕方について理解が深まりました。これまで日本語に対して意識していなかったことに気付けたことが、いま何より英日翻訳に役立っています。



2024年10月修了
増金純子さん

世界が注目するクールジャパンを発信したい人へ

日英映像翻訳科 総合コース (リモート受講)

主な受講対象者

- ・日本のコンテンツに興味があり、それを海外に発信したい
- ・ネイティブスピーカーの話す内容を理解できる
- ・TOEICのスコアの目安730点

学習到達目標

- ・英訳の方法論、作品解釈などの基礎スキルを身につける
- ・字幕、吹き替え、マンガ翻訳などの各手法の基礎を理解する

総合コースのカリキュラム

- 全21回開催(※基礎マスター 8回と応用トレーニング13回)、受講期間6カ月
- 基礎マスター(初回~8回分)だけの受講も可能

主なカリキュラム

基礎的な知識	日英翻訳概論	英語字幕のルール	日英翻訳の基礎	英語表現力
基礎的な演習	ストーリーテリング①	ボイスオーバー	実写劇映画字幕①	
応用的な知識	戦略としてのAI翻訳			
応用的な演習	短編映画字幕	ゲーム翻訳	企業VP字幕	インタビュー/ドキュメンタリー字幕 予告編字幕

※全21回。ここで紹介していない講義の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

日本の映画やドラマ、アニメやマンガなど日本語の映像コンテンツを英訳する日英映像翻訳者を目指す方が、まず受講するのが「総合コース」です。

圧倒的に不足している日英映像翻訳者

日本のコンテンツの評価は、世界で高まり続けています。政府が進める「クールジャパン戦略」もあり、日英翻訳業務のニーズは倍々ペースで増加。急増するニーズに対して、翻訳者の数は圧倒的に不足しています。

当校は、2008年に他のスクールに先駆けて東京校とロサンゼルス校で日英映像翻訳者を育成するコースを立ち上げ、多数のプロを輩出しています。

日英映像翻訳科の強みは英語ネイティブの講師陣です。邦画の英語字幕を手がけている講師はもちろん、企業のCMやプロモーション映像を数多く手がけている講師や、

日本の人気マンガの翻訳を中心にしている講師など、その世界の第一人者が揃っています。また、日本に長く在住している講師も多く、日本語への理解と実際の視聴者・読者である英語ネイティブの感覚の両方を熟知しており、日英翻訳を学ぶには最適な人材といえます。

カリキュラムも多彩です。長編・短編映画、映画の予告編、ドキュメンタリー作品、マンガ、企業VP、映画の台本など、実践コース修了後の実際の仕事に直結するさまざまなコンテンツの翻訳について学ぶことができます。

英日と比べ、視聴者の数が格段に多いということも日英映像翻訳者の大きな魅力です。非英語圏の国の人であっても英語で作品を見ている人は世界中に数多くいます。そういった人たちに翻訳した作品を届けることができるのです。

日英映像翻訳科総合コースは、日本のコンテンツが好きで、世界にそれを発信したいという方におすすめです。



講師がアドバイス

日本人のあなたにこそ チャレンジしてほしい



映像翻訳者
南久美子

日本の長編・短編映画、バラエティ番組やドラマ、映画祭カタログ、企業VPの翻訳など幅広く手がける。

私も日英映像翻訳科の修了生です。現在は講師として総合・実践両コースの講義を受け持つほか、1人の映像翻訳者として、さまざまなコンテンツの翻訳案件を手がけています。

本コースの魅力は講師陣です。邦画の英語字幕や吹き替えを手がけている講師が多いのはもちろんですが、映画の制作やプロモーションに精通していたり、マンガやアニメの翻訳を数多く担当していたりする講師もいます。

日英映像翻訳は「英語ネイティブじゃないとできない」と思われるかもしれませんが、活躍している修了生の多くは、

英語や映画が好きで非ネイティブの日本人です。日本の作品を海外に伝えるには文化や文脈の理解が必須なので、日本人が力を発揮するチャンスが大いにあるのです。また、海外の映画祭などで英語字幕つきの作品を観る人の大半は母国語が英語以外の人々です。字幕にシンプルで分かりやすい英語(グローバルイングリッシュ)が求められるのも頷けます。

日英映像翻訳は日本人であるあなたにこそチャレンジしてほしい領域です。日本の作品に詳しくなくても、今から興味を持って観始めればきっとその魅力を海外に届けることができます。



修了生からのエール

講義を夢中で受けているうちに 気づけば不安は消えていた



2022年4月期
日英総合コース修了

ベッツィー・リネハンスキリングズさん

日本のアニメや映画、特にビデオゲームに出会ったことで私の世界は広がり、人生が変わりました。今度は私が映像翻訳者として誰かの世界を広げたいと思い、JVTAに入学。授業では文字数制限を守って訳すという基本的な技術から、物語の読み解き方やリサーチの方法まで学びます。例えば、物語の流れを理解し、適切な言葉選びができることで、視聴者に作品本来の魅力を伝えることができ、適切にリサーチすることで自分の訳した言葉に根拠と自信が生まれます。プロとして必要なスキルを習得できたのは、熱心に指導してくれる講師の皆さんのおかげです。



COLUMN

日本映画の作り手たちが待ち望む日英映像翻訳者

海外上映を想定して撮影に取り組む映画の作り手が増えています。そんな彼らと一緒に仕事をしたいと思っているのが、日英映像翻訳者です。グローバルな映画祭に作品を出品する

ためには英語字幕が必須。日本の作品の魅力を海外の観客に伝えられる人材が求められています。日英映像翻訳のスキルを身につければ、日本映画と海外との懸け橋になれます。



ジャンル別に演習を重ねて、すぐにプロデビュー

日英映像翻訳科 実践コース (リモート受講)

主な受講対象者

- ・日英映像翻訳科 総合コース 修了生
- ・プロの日英映像翻訳者を目指したい
- ・英語力を仕事に生かし、キャリアアップを図りたい

学習到達目標

- ・プロの日英映像翻訳者として活躍できるだけの知識、スキルを身につける

実践コースのカリキュラム

- 全21回開催、受講期間6カ月

主なカリキュラム

専門的な知識	フリーランサーの営業術		
実務的な演習	実写劇映画字幕①～⑦	ボイスオーバー①・②	マンガ
模擬発注	模擬発注(字幕)①	模擬発注(字幕)②	模擬発注(字幕)③

※全21回。ここで紹介していない講義の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

日英映像翻訳科の実践コースの目的は、クライアントを想定した模擬発注形式の演習を繰り返し、受講生の知識とスキルをプロの水準に高めることです。

日英翻訳の難しさの1つに、(日本人である)自分が翻訳した英語字幕が、海外の観客や視聴者に適切に伝わっているのかという判断がしにくいことがあります。ここでも役立つのが講師陣です。日本人講師も含めた講師全員がネイティブの英語や海外の視聴者の心情を知り尽くしています。そうした講師たちから、自分が制作した英語字幕に対してフィードバックを受け、それをもとに講師や同じクラスの受講生たちとディスカッションすることは、スキルアップには欠かせない作業です。

演習を通じて、ストーリーのストラクチャー(構造)やストーリーテリングの理解も深まるでしょう。例えば、映画内の「おつかれさま」というセリフの1つでさえ、前後の

シーンやストーリーによって意味が異なります。複雑なストーリーを読み解き、日本のことを知らない海外の人たちに伝えることができた時の嬉しさは大きいはず。

文化の枠を超えて、日本の作品のメッセージを伝える

修了するころには作品ごとに視聴者層が異なることを理解し、それぞれに合った英語表現を選び、分かりやすく伝えるスキルが身についているでしょう。制作者の意図を正しく表現するスキルを養っておけば、作品のテーマに沿った訳を視聴者に届けることができます。例えば、独特な言葉が飛び交う、日本の歴史にまつわる映像作品。それが教養を深めるためのドキュメンタリーでも、ストーリーを楽しむための時代劇でも、ふさわしい言葉で訳し、正しく内容を届けるのが、プロが手がける英語字幕です。日英映像翻訳者は文化の枠を超えて日本の作品のメッセージを伝えます。



講師がアドバイス

日本のコンテンツの英語字幕はニーズが高まり続けている



映像翻訳ディレクター
ジェシー・ナス
フジテレビ系テレビ番組の英語字幕ディレクションや、邦画の海外映画祭出品業務に携わる。

「日本語字幕と比べて、英語字幕は触れる機会が少ない。どうやったら自主的に知見を深めることができるのか」――。

そんな声をよく聞きます。私がおすすめしたいのは、グローバルに展開するオンライン動画配信サービスで、日本のコンテンツを英語字幕つきで見ることです。世界中の人に向けられたプラットフォームですから、英語字幕がついている作品がたくさんあります。英語字幕つきの日本のコンテンツが広まっている動きは、日英映像翻訳の仕事がこれからさらに増えることを意味しています。動画配信事業者が日本発のオリジナルコンテンツ

制作に力を入れ始めた点も注目です。

本コース修了生の活躍の場は、映画やドラマだけに留まりません。例えばマンガの日英翻訳。日本のマンガファンが世界中にいることは周知のことですが、ビジュアルやセリフ、ストーリーで伝えるマンガの翻訳は日英映像翻訳者こそが求められる領域です。今はメジャーな作品も英語版やバイリンガル版が出ているので、ぜひ手に取ってみてください。

映像作品に興味があって、英語で書くことが好きな人に、プロとして活躍してほしいのが日英映像翻訳です。あなたの翻訳を海外の日本ファンが待っています。



修了生からのエール

演習を通じてどんな仕事にも対応できる力がついた

2021年4月期
日英実践コース修了

土居可弥さん



実践コースでは、総合コースで身につけた基礎知識をもとに、広い視点で細部にまで注意して訳すことを学びました。毎授業の課題は、実際の仕事をイメージして注意深く取り組みました。物語や登場人物のキャラクターの理解を深めていく作品解釈の授業が印象的で、アドバイスもより実践的な内容になりました。実践コースの中で映像を引き立てるための言葉選びについて指導を受けたおかげで、視覚情報や登場人物の声のトーン、表情に合った言葉選びや表現を常に意識するようになりました。プロになった今でもその経験が役立っています。



COLUMN

映画祭はスキルアップに格好の場

日本のみならず世界中で行われている映画祭。社会問題を扱ったものから、その国の映画を集めたものなどがあり、JVTAもさまざまな形で関わっています。映画祭の翻訳には、多数の翻

訳者が必要となるので、新人翻訳者が参加できる機会も多くあります。経験を積むいい機会というだけでなく、自分の手がけた作品が会場の大きなスクリーンで上映されるのも魅力です。



ロサンゼルス校

主な受講対象者

- ・ロサンゼルスで集中して通訳・翻訳の訓練を受けたい
- ・英日・日英の映像翻訳、通訳、実務翻訳を総合的に学びたい
- ・アメリカ文化に触れ、理解を深めたい

学習到達目標

- ・プロの英日・日英映像翻訳者として活躍できるだけの知識、スキルを身につける
- ・通訳、実務翻訳の基礎的なスキルを身につける

ロサンゼルス校のカリキュラム

- 映像翻訳専攻基礎、映像翻訳専攻実践、通訳・実務翻訳専攻のいずれも受講期間は約6カ月
- プレパラトリーコースは、1週間からの短期留学が可能

各コースの主なカリキュラム

映像翻訳専攻基礎	映像翻訳概論～入門	日本語字幕のルール	吹き替え翻訳の基礎	英語字幕のルール
映像翻訳専攻実践 (英日・日英)	吹き替え翻訳(リップシンク)	日本語字幕(ドラマ)	吹き替え翻訳(ボイスオーバー)	英語字幕(情報番組)
通訳・実務翻訳専攻	逐次通訳演習基礎	翻訳技法基礎	英日・日英a逐次通訳	英日・日英翻訳
プレパラトリーコース	コミュニケーション	ライティング	通訳の基礎	翻訳の基礎

※授業の詳細は、当校のホームページでご確認ください。

職業訓練を目的とするM-1ビザを取得して米国にあるJVTAロサンゼルス校に留学するコースです。映像翻訳専攻と通訳・実務翻訳専攻があり、映像翻訳専攻では字幕・吹き替えなどの映像翻訳のスキルを養い、プロの映像翻訳者を目指します。東京校ではコースが分かれている英日映像翻訳と日英映像翻訳の基礎をロサンゼルス校では、集中的に約半年間で学ぶことができます。また、ロサンゼルス校独自の通訳・実務翻訳の基礎もカリキュラムに含まれており、英日・日英の映像翻訳、通訳、実務翻訳という英語を使った職業スキルを幅広く習得することを目標としています。基礎、実践を修了すればトライアルの受験資格を得ることができ、トライアルに合格すれば、プロの映像翻訳者としてデビューできます。

通訳・実務翻訳専攻は、通訳クラスと実務翻訳クラスの授業を週に2つずつ受け、プロの通訳者・実務翻訳者に

必要な基礎スキルを身につけていきます。通訳クラスでは、幅広い分野の教材を用いて、英語から日本語へ、日本語から英語への逐次通訳訓練を行います。実務翻訳クラスでは、契約書やビジネス文書など実践的な教材を用いて、正しい原文解釈力や翻訳の基礎力の強化を図ります。

英語力に不安のある方向けのコースも

本格的な翻訳・通訳トレーニングを受けたいが、英語力に不安があるという方に向けたコースが、プレパラトリーコースです。独自のプログラムによって「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」といった総合的な英語力の向上を図ります。コース修了後は進級判定が出れば、映像翻訳専攻、通訳・実務翻訳専攻を受講することができます。また、プレパラトリーコースは1週間からの短期留学が可能です。



講師がアドバイス

エンタメの発信地で プロから最新の情報を聞く



映像翻訳者
古川晴子
JVTAロサンゼルス校・英日
映像翻訳クラスで講師を務める。

時代によって変化していく映像翻訳業界。アメリカで、プロから最新情報を聞けることは貴重な経験になるはずです。また、世界で活躍するプロの翻訳者からさまざまなケースを教えることが大切です。私の講義ではレクチャー形式ではなく、受講生の発言の機会が多くなるよう心掛けています。例えば、クラスメートの字幕を視聴者の目線に立って見てもらい、違和感の原因や解消法について意見を述べてもらいます。映像翻訳は言葉の意味が伝われば良いのではなく、さまざまな情報や話者の感情を少ない文字数で訳

さなくはいけません。そのため、答えは1つとは限らないのです。

体系的に翻訳を学べば訳出の指導を受けられるだけではなく、クライアントやチェッカーの立場で考えられるようになります。字幕原稿の補足情報をまとめた「申し送り原稿」の必要性も知ることができます。こうした実践的なスキルを習得することは、プロとして仕事をしていく上で、非常に大切な、大きな収穫になることでしょう。文字数制限がある中で、その場面にぴったりと合う字幕を作る。そこが字幕翻訳の面白さです。



修了生からのエール

LAで学んだ全てが “仕事力”になりました

2021年4月期
映像翻訳クラス修了
小川恵里奈さん



渡米して5年が経った頃、もっと英語力をつけたいという思いと映像翻訳への興味が重なり、JVTAに入学しました。授業では、様々な作品を使って字幕や吹き替えの技術を学びます。毎週の課題には提出期限があり、実践しながらの作業が求められます。その経験のおかげで作業時間を見積もれるようになり、プロになった今、効率よく仕事ができている。またJVTAに通ったことで「映像コンテンツが好き」「映像翻訳者になる」という思いや目標を共有できる仲間ができました。今では一緒に仕事をすることもあり、互いに切磋琢磨しています。



COLUMN

アメリカ在住の現地生も受講

当校のビザサポートが不要な方は現地生として入学が可能です。ロサンゼルス校では映像翻訳クラスの他に実務翻訳クラスや通訳のためのコミュニケーションクラスなどを開講して

いるから、個々の目的やキャリアプランに合わせて受講クラスを選択していただけます。通訳・実務翻訳クラスは、日系企業でバイリンガル業務を担うビジネスパーソンに人気です。



受講前に抱きがちな不安を 講師4人がアドバイス



修了直後にプロ試験を実施 「学び」と「仕事」をつなぐ

日本映像翻訳アカデミー代表
新楽直樹



学んだ後に仕事があるのだろうか。そう不安に思う方もいるでしょう。しかし、心配することはありません。

当校は英日、日英コースともに最終コースを受講した後、トライアル(プロ試験)に合格した修了生に対して、修了生のための就業支援部門である翻訳受発注部門から仕事を依頼する体制を整えています。「せっかくプロとして通用するスキルを身につけても、すぐに生かす場がなければキャリアを積み重ねることができない」。そう考えているからです。

下表はMTCの主な取引実績です。映画

配給会社やテレビ局はもちろん、大手ネットメディア、国際映画祭の主催者など多岐にわたっています。MTCが受託した翻訳業務の多くは、デビューして3年以内の修了生が担っています。当校なら受講生の段階から「修了後には新人翻訳者でも活躍できる場がある」ことを実感できると思います。

デジタル化とグローバル化が進む中、映像翻訳のニーズは英日、日英とも拡大しています。2015年には世界最大規模のビデオ・オン・デマンドサービス会社が日本上陸を果たしました。また、MOOC(Massive

Open Online Course)のように、世界的に有名な大学の授業や有名スピーカーによるプレゼンテーションをネットで視聴できる機会も増えています。

日英翻訳の拡大については言うまでもありません。政府が力強く推進するクールジャパン戦略や、2021年東京オリンピック・パラリンピックの開催によって、映像翻訳者を求める声はますます高まることが予想されます。

映像翻訳の力でグローバル社会の創造に貢献しましょう。

主な取引実績(五十音順)

企業や教育、公的機関

あさひ学園	世界銀行	日本国際放送
アルク	全米日系人博物館	日本テレビ
朝日新聞社	ソースネクスト	フランクリン・コヴィー・ジャパン
伊東商工会議所/伊東観光協会	ソニーグループ/ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	VSI
IMAGICA	ソニーPCL/ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	ベネッセコーポレーション
ウォルト・ディズニー・ジャパン	ディスカバリー・ジャパン	毎日コミュニケーションズ
エイベックス・エンタテインメント	ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク	ユニバーサルミュージック合同会社
NHK(日本放送協会)	ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク	吉本興業
クレーク・アンド・リバー	大和ハウス工業	読売新聞社
ケーブ	タカラトミー	リクルートホールディングス
グレーブストーン	DAZN Japan Investment	立命館大学
慶応義塾大学	Deluxe	ロボット
公益社団法人国際厚生事業団	電通/電通クリエイティブX	WOWOW
国際交流基金	TBSテレビ	
ジェイ・スポーツ	東映/東映アニメーション	
JAPAN HOUSE	東京芸術大学	
ジャパンタイムズ	東京大学	
J.COM株式会社	東宝	
松竹	TOブック	
	TOPPAN株式会社	
	独立行政法人 日本貿易振興機構	
	日本アムドックス株式会社	

映画祭・映像翻訳支援プロジェクト

難民映画祭、恵比寿映像祭
ジャパン・フィルム・フェスティバル LA
ショートショートフィルム・フェスティバル&アジア
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭
東京国際映画祭、ニッポン・コネクション(ドイツ)
レインボー・ロール東京



プロに必要な力を6つに分解 効果的にスキルアップを図る

映像翻訳ディレクター
石井清猛



翻訳者の育成というと「習うより慣れろ」「とにかく場数を踏む」といった職人的な世界をイメージする人も多いと思いますが、私たちはそれでは「プロになるまでの時間が必要以上にかかってしまう」と考え、プロになるまでのロードマップを明確に示すことに努めています。

その1つが映像翻訳者に必要なスキルの体系化です。当校ではプロの映像翻訳者に必要なスキルを「6つの資質」として定め、それらをバランス良く伸ばせるようにカリキュラムを組んでいます。6つの資質とは、「ソース言語解釈力」「翻訳力」「コンテンツ解釈力」「ターゲット言語応用表現力」「取材・調査力」「ビジネス対応力」からなっています。

例えば、英日映像翻訳の場合、ソース言語解釈力は「メディアコンテンツ(翻訳素材)における生きた英語を理解できるスキル」。コンテンツ解釈力は「メディアコンテンツの構成・背景を理解し、作り手の意図を把握するスキル」。ターゲット言語応用表現力は「視聴者・読者を想定し分かりやすく的確な日本語を使って表現するスキル」と定めています。

映像翻訳のプロセスを分解して、上に挙げた3つの力の必要性を解説します。英日映像翻訳では、ネイティブ視聴者に向けて作られた海外映像の魅力や面白さを、英語が分からない日本人に伝える必要があります。そのためにもまず必要なのが、映像の魅力を理解するための英語解釈力です。映像翻訳はそこにある英語をただ訳すだけでは作品の面白さは伝えられません。セリフ1

つを訳すにしても物語全体の流れや、俳優の演技や表情によって伝えるべきニュアンスは異なるからです。

それに加えて、映像全体を理解するコンテンツ解釈力も求められます。映画で言えば三幕構成などのストラクチャーや構成を理解することで、作品の世界観や制作者の意図などをより深くみ取ることができるからです。くみ取った世界観や意図を、的確な日本語で伝える日本語表現力も大切です。同じ

日本人でも性別や世代によって伝わる日本語表現は異なります。想定した視聴者により伝わる日本語表現を考える必要があります。

難しそうな映像翻訳のプロセスも分解することで、やるべきことが見えてきます。当校では各々の講義に学習目標を設定し、講師は、6つのうちの力を伸ばすかを意識して講義を行っています。受講生へのフィードバックでもそれを意識し、効果的なスキルアップを目指しています。



JVTAのカリキュラムは、独自に定めたプロの映像翻訳者に必要な「6つの資質」に基づいて構成されています

受講前に抱きがちな不安を 講師4人がアドバイス



プロの映像翻訳者にとって 必要な英語力とは?

映像翻訳者
山根克之



映像翻訳を学ぼうかと考えている方にとって、気になるのが英語力でしょう。JVTAでは、各コースの受講の目安としてTOEICの点数を挙げています。あえて「目安」としているのは、プロの映像翻訳者になるための英語力は、TOEICの点数では判断できないからです。事実、JVTAに入校した時のTOEICの点数は600点台前半でしたが、現在ではかなりの数の作品を手がけている翻訳者の方もいますし、海外での生活が長く、900点以上という点数があっても、なかなか芽の出ない方もいます。

私がプロの映像翻訳者を目指す方にとって大事だと考えているのは、「原文を完璧に理解する」ということです。原文の

意味を100%理解しないまま、自分の理解だけで翻訳を進めようと、訳文のロジックが破たんし、その破たんを補おうと、原文にはない言葉を付け足していくこととなります。そうすることで、ますます原文の意味から離れる訳文ができあがるのです。

原文を完璧に理解しないまま翻訳を進めようという傾向、実は英語力に自信があるという人に多くみられます。感覚的にある程度の解釈ができるので、分からない箇所は、分からないまま、「何となく処理してしまっている」のです。そしてこの手のタイプの人は、総じて文法と構文への理解を軽視しがちです。しかし、原文を完璧に解釈するためには、文法と構文への深い

理解が必要なのです。

受講生の皆さんには、私がプロに必要な英文解釈力についてお教えします。文法と構文への理解をしっかりと身につけることがプロへの第一歩となります。では、いままでの話を踏まえて、1つ問題を用意しました。下図の英文は、あるドラマのワンシーンです。ベビーシッターをしていた男性2人組が赤ん坊を連れて外出中にナンパに夢中になり、バスの中に赤ん坊を置き忘れてしまいます。交通局の預り所に迎えに行くと、似たような赤ん坊が2人並んでベッドに寝ていました。その時、男性の1人がもう1人に向けて言ったセリフです。さあ、文法と構文に注意して挑戦してみてください。

問題

Please tell me you know which one is our baby.



解説

【解説】「どっちがオレたちの赤ん坊だ？」と訳してしまいがちですが、それだと原文の意味から少し外れてしまいます。tell meして欲しいのは「which one is our baby」ではなく、「you know which one is our baby」です。ここにはセリフを言った男性の「オレには分からないけど、お前には分かるよな？ 分かる言ってくれ」という切羽詰まった気持ちが表れているわけです。それを表現するなら、「見分けつくだろ？」などとなります。



ライフステージに応じて 働き方を選択できる

映像翻訳ディレクター
板垣七重



最後に気になる収入とワークスタイルについてお話ししましょう。

当校の強みは修了生の6割がプロデビューを果たすことですが、その後のワークスタイルはさまざまです。専門の映像翻訳者として活躍されている方はもちろん、会社勤めをしながらプロの映像翻訳者として活躍している方、子育てや親の介護などを理由に月に1~2本程度の番組の翻訳を行っている方など、ご自分が希望する働き方を選んでいきます。収入はワークスタイルに応じてある程度決まってきます。映像翻訳を専業にしている方の場合、収入は年間およそ300~800万円ほどです。会社に勤めながら

という方の場合、翻訳に取り組む量にもよりますが、年収50~250万円ぐらいでしょうか。会社勤めの方の場合、平日の夜や週末を使って翻訳に取り組むことになるため、自由な時間は減ってしまうかもしれませんが、会社からの収入の他に、翻訳で収入が得られれば、経済的に余裕のある生活ができるはずですよ。

次に翻訳1本当たりのギャランティについてです。映像翻訳のギャランティは10分単位で支払われる場合がほとんどです。例えば、50分の番組を毎月4本翻訳した場合の収入を計算してみましょう。10分当たりの翻訳料を1万5000円として計算すると、50分番組を1本翻訳

してもらえる翻訳料は7万5000円です。それを毎月4本翻訳した場合、月収は30万円、年収は360万円になります。50分番組を毎月4本翻訳するのはキャリアが浅いうちは簡単ではありませんが、慣れてくれば十分にこなせる仕事量です。

映像翻訳者の魅力は、ライフステージや場所を問わず働けること。子育てで忙しい時は仕事量を減らし、子供が独立して時間に余裕ができれば仕事量を増やすなど働き方を柔軟に選べます。パソコンとネットに接続できる環境があればどこでも翻訳ができるため、地方在住や海外在住の方でも問題なく仕事ができます。



それでも、 私が一步を歩みだした理由



JVTAに入学したのは97年。BSやCSなど多チャンネルの放送が始まり、映像翻訳のニーズが一気に増えた時期でした。受講中は決して優等生ではなく、クラスメートの訳と自分の訳を比べては落ち込んでいました。しかし今思えばこれは受講生時代にしかできない貴重な学びでした。なかなかプロデビューできないなか、日本語表現に特化した授業が転機になりました。一文ずつの訳に囚われて全体の流れが出来ていないことが自分の弱点だと気づき、これがトライアルの合格に繋がりました。

映像翻訳者はいち早く誰よりも深く作品に潜っていきける仕事です。吹き替え翻訳は声優さんが読む脚本をつくるので、自らもセリフをつぶやきながら語尾や口調にこだわってキャラ付けやギャグやダジャレなども作りこんでいける楽しさがあります。今後映像翻訳者を目指す方には字幕だけでなく吹き替えにもぜひ挑戦してほしいと思います。

これまでレオナルド・ディカプリオが悲願のアカデミー賞を手にした『レヴェナント：蘇えりし者』や、担当したことで私も大ファンになった『処刑人II』、ティモシー・シャラメ主演の『君の名前で僕を呼んで』など本当に多くの名作に恵まれてきました。今後も息長く翻訳を続けていきたいです。

PROFILE

英日映像翻訳実践コース
1997年10月期修了
瀬尾友子さん

『ボヘミアン・ラプソディ』『フェイブルマンズ』『ねこのガーフィールド』など多くの劇場公開作品の吹き替え翻訳を手がける。

CASE

1

映像翻訳のニーズが増加 将来性を感じて入学

英日映像翻訳科、日英映像翻訳科、M-1ビザLA留学コースを終えた修了生5人に「なぜ、映像翻訳を学ぼうと思ったのか?」「JVTAを選んだ理由」を聞いてみました。きっと皆さんの今後の参考になると思います。



CASE

2

自分の「好き」が役に立つ仕事 思わぬ得意分野が広がるのが魅力

字幕翻訳に興味を持ったきっかけはミュージカルの来日公演で、ステージ脇に縦書きで表示される字幕に触れたことでした。字幕があることで、海外に行かなくても日本で本場の公演を楽しめると実感したのです。JVTAへの入学時は自分に適性があるのか不安だったのですが、最初の6回だけでも申し込みができるというシステムのおかげで決心ができました。熱心で個性的な講師による実務を想定した授業では、課題提出時のファイル名から半角・全角などの細かい表記、調べものの根拠まで厳しく訓練されたことが今とても役立っており、共に学んだクラスメートとは

今も交流しています。

映像翻訳者になって嬉しかったのは大好きなK-POPのライブ映像や『ハリー・ポッター』関連作品に携われたことです。また、初めて東京コミコンに参加した際、字幕を担当した作品が上映され、さらにその監督とお会いできて感激しました。その他、車の改造、サッカー、蛇、アメリカの歴代大統領など、それまでは未知の世界にも数多く向き合ってきました。翻訳者として深く調べることで思わぬ得意分野や趣味が増えていくのもこの仕事の醍醐味だと思います。これまでネパールやマレーシア、スペイン、中国などあまり馴染みのな

かった国の作品にも出会えました。今後はダンスやミュージカル、日本のプロ野球など昔から好きな分野もぜひ生かしていきたいですね。

PROFILE

英日映像翻訳実践コース
2020年4月期修了
長沼葉奈さん

字幕を中心にドキュメンタリーから、ドラマ、映画、音楽ライブなどの翻訳を手がける。現在は会社員をしながら動画配信や機内上映などの作品に携わっている。



CASE 4 受講中に築いたネットワークが仕事に繋がる

映像翻訳を学ぶ場としてJVTAを選んだのは、しっかりした講師が揃っていると感じたからです。また、授業をすべてリモートで受講できる点も魅力的でした。実際に授業を受けて良かったと思った点は、クラスメートの訳をたくさん見られたことです。バックグラウンドの異なる受講生による様々な訳例はとても勉強になりました。受講時に築いた講師やクラスメートとのネットワークは、現在の仕事にも繋がっています。JVTAは映像翻訳の学校なので、修了後の仕事は映像翻訳だけだと思っていました。しかし実際には、多種多様な仕事で驚きました。今は映像翻訳に加えて通訳、マンガ翻訳なども手掛けています。幅広い仕事があって色々な機会を得られるのが、日英映像翻訳のいいところだと思います。

映像翻訳はとてもクリエイティブな仕事です。昨今はAIによる翻訳の精度も高まっていて、仕事でAIの力を生かすのは必須だと私も考えています。けれど、制作者の意図を理解し、様々なリサーチを行い、一つひとつの言葉のニュアンスまで考えられるのは人間だけです。AIも活用しつつ、人間としての創造性も大切にできる翻訳者でいたいですね。

PROFILE

日英映像翻訳科実践コース
2021年10月期修了
角脇ジャスパー啓さん

コメディ映画や任侠映画、バラエティー番組の英語字幕を担当。またゲームやCM、ニュース記事などの翻訳も手掛けている。

CASE

5 仕事の幅も人脈も広がるそれがLA校留学のメリット!

子供の頃から海外ドラマが大好きで、物語を通して英語を学びました。大学卒業後にIT系企業に就職しましたが、自分も誰かに影響を与えられるような仕事に就きたいと思い、映像翻訳者を目指してJVTAの東京校に入学。英日映像翻訳科を修了後、さらにスキルを磨いて仕事の幅を広げたいと思い、日英映像翻訳に加えて通訳と実務翻訳も学べるロサンゼルス校への留学を決めました。

クラスは少人数制で、映像翻訳の講師からは私の弱点を踏まえた具体的なアドバイスをもらい、新たな気づきがありました。通訳のクラスでは、実際に講師が仕事で実践している方法を詳しく教えてもらいました。実務翻訳の課題では、決まった単語や言い回しをパズルのように組み合わせる契約書の翻訳に映像翻訳とは異なる面白さを感じました。休日はアメリカ国内を旅行し、大好きなアメフトの試合を本場で見ることもできたのも貴重な体験です。

現在はフリーランスで映像翻訳や実務翻訳の仕事をしています。特に実務翻訳は、ロサンゼルスで知り合った知人からの紹介で仕事をもらうことも多く、幅広い人脈作りができるのも留学のメリットだと感じています。

PROFILE

ロサンゼルス校
M-1ビザLA留学コース2024年修了
山本あかりさん

JVTA東京校での学習を経て、ロサンゼルス校に留学。帰国後はフリーランスの映像翻訳者、実務翻訳者として活躍。目標はスポーツ関連の作品を手掛けること。



元々英語の講師をしていましたが、在宅できて時間の自由がきく仕事をしたいと考えていました。そんな中で映像翻訳を知り、学べる場所をリサーチ。JVTAの説明会で新楽代表の熱意に惹かれ、JVTAで映像翻訳の学習を始めました。

映像翻訳者になっておもしろいと思うのは、様々な仕事があるということ。私は映画やドラマの翻訳だけでなく、企業の動画や海外向けHPの日英翻訳なども数多く手掛けているので、多種多様な世界の裏側を知ることができます。幅広い仕事がある映像翻訳では、「飽きる」ということがありません。

これまでで印象的だった出来事のひとつは、字幕翻訳に携った映画『スパイの妻』(2020)が、第77回 ヴェネチア国際映画祭で銀獅子賞を受賞したことです。国際映画祭において、字幕の質は重要です。同映画祭では審査委員長が俳優のケイト・ブランシェットだったので、「字幕が彼女に伝わったのかもしれない!」と思うとうれしかったです。映画祭出品作の字幕翻訳では、監督から翻訳に関する感想を直接もらったこともあります。制作陣との距離が近くなれるのは、日本作品を翻訳する日英映像翻訳ならではの魅力だと思います。

私は「日英映像翻訳者は日本の文化を伝える文化大使である」と考えています。翻訳を通して、日本のことを世界に伝える役目を担います。日英映像翻訳に興味があるなら、ぜひトライしてほしいですね。一緒に日本の文化大使になりましょう!

PROFILE

日英映像翻訳科
実践コース2012年4月期修了
杉崎やよいさん

黒沢清監督の『スパイの妻』をはじめ、様々な映画作品の英語字幕を担当。その他、各種企業PV、音楽系アワードの番組、アニメの翻訳なども手掛けている。

CASE

3

映像翻訳では「仕事に飽きる」ことがない



Instructors with vast professional experience

あなたをプロに導く講師陣

JVTA講師陣の強みは、多くの講師が自らもプロの映像翻訳者として働いていること。受発注部門のディレクターから、著名作品の字幕を手がけた世界的に名の知れた講師まで。最先端の現場で活躍する講師の指導によって、あなたをプロの映像翻訳者に導きます。

- ジェシー・ナス 日英コースディレクター 17
- ダグ・ジャクソン ライター／編集者 18
- サミハ・アンワー 映像翻訳者 19
- スタンザーニ・ビーニ 詩文奈 マンガ翻訳 20
- 南 久美子 映像翻訳者 21
- ジェイク・ヤング 日英翻訳者 22
- トニー・キム 字幕翻訳 23

- キャッチボール 若菜 映像翻訳者 24
- 田村 麻衣子 映像翻訳者 25
- 後藤 太郎 スーパーバイザー 26
- ポール・ケラー 映像翻訳者 27
- オルセン由紀 通訳者 28
- 宗円 直妙 映像翻訳者 29
- トルバート 景子 実務翻訳者 30



- 石井 清猛 映像翻訳チーフディレクター 1
- 藤田 奈緒 映像翻訳ディレクター 2
- 桜井 徹二 映像翻訳ディレクター 3
- 片柳 伊佐 映像翻訳ディレクター 4
- 丸山 雄一郎 ライター／編集者 5
- 藤田 庸司 映像翻訳チーフディレクター 6
- 山根 克之 映像翻訳者 7
- 板垣 七重 映像翻訳ディレクター 8

- 野村 佳子 映像翻訳者 9
- 深井 裕美子 翻訳者・通訳者 10
- 満仲 由加 映像翻訳者 11
- 杉田 洋子 映像翻訳者 12
- 横山 治奈 映像翻訳者 13
- 小原 香代 映像翻訳者 14
- 石川 エデイス 映像翻訳者 15
- 新築 直樹 日本映像翻訳アカデミー代表 16

- アーロン・ウルフオーク 映画製作者／脚本家 31
- 中島 由紀子 映画ライター 32
- マクラウド ゆか 映像翻訳者／実務翻訳者 33
- 足立 リリー 映像翻訳者 34
- こはた あつこ 映画コメンテーター 35

- 比嘉 デイッキンソン 佐恵子 実務翻訳者／通訳者 36
- 藤原 民子 通訳者／実務翻訳者 37
- 瀬谷 玲子 映像翻訳者
- 加藤 亜弓 映像翻訳者

アクセス

Tokyo

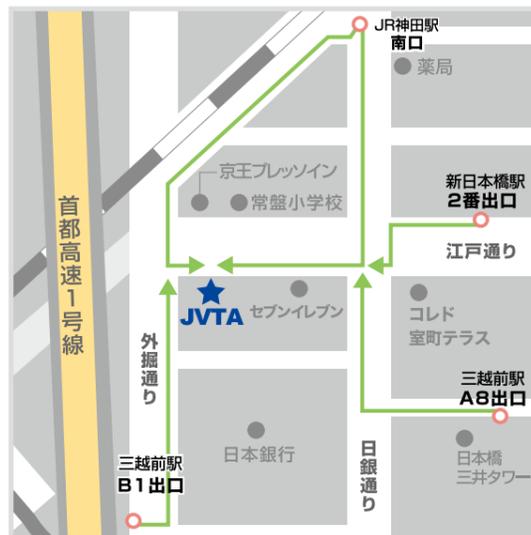
団体名称：日本映像翻訳アカデミー®
 (特許庁商標登録番号：第4665515号、第4665516号)
 学校運営法人：日本映像翻訳アカデミー株式会社
 JVTAグループ代表取締役 兼 学校長：新楽直樹
 役員：取締役 筆谷信昭
 所在地：東京都中央区日本橋本石町3-2-4共同ビル(日銀前)2F/3F

情報セキュリティについて

当社は情報セキュリティ・マネジメントシステム (ISMS) の国際規格である「ISO/IEC 27001:2022」の認証を取得しました。ISMSとは、情報資産をさまざまな脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な情報セキュリティ・マネジメントシステムです。詳しくはウェブサイト (<https://www.jvtanet/tyo/isms/>) をご確認ください。



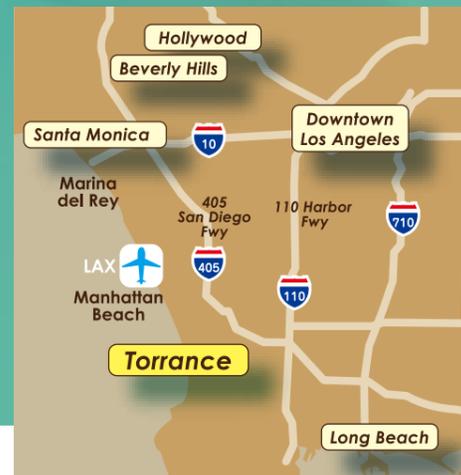
ISO/IEC 27001:2022 認証取得



東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」または、JR「神田駅」より徒歩5分

Los Angeles

法人名：米国ロサンゼルス支社 JVTA, Inc.
 学校名：Japan Visualmedia Translation Academy, Los Angeles
 代表取締役：筆谷信昭
 所在地：3510 Torrance Blvd., Suite 219, Torrance, CA 90503 U.S.A.



次は授業でお会いしましょう

We hope to see you in the classroom